

が開始されます！

日から、関東・中京・近畿の三大広域圏で開始
皮切りに順次デジタル放送への移行が予定され、
デジタル化されます。



「デジタル放送」
ってなーに？

テレビ番組をご家庭にお届けする電波の仕組みには、アナログ方式とデジタル方式の二つの方法があります。現在行われている放送は、アナログ方式の放送で映像や音声信号の大きさを電波の変化に変えて行う放送です。

「デジタルとアナログ」の違いを、さらに詳しく！

物の量を計ったり、示したりするのは、いろいろな方法があります。例えば時計には、デジタル式とアナログ式があります。デジタル式は数字で、アナログ式は針で時刻を表します。デジタル式は、何時何分かを数字で表示するため、はっきりとわかりますが、途中経過は表さず、60秒に1回表示が変わり1分刻みで表示されます。

アナログ式は、秒針が一回りして1分となるように、連続した変化をそのまま表すため、ぱっと見てもだいたいの時刻しかわかりません。

デジタルの語源は、指「デジタル」で、数をかぞえるのに指折り数えたことからついた言葉です。ある量を数字で表すことをデジタルといい、光の明暗や色の変化の連続したアナログ信号を一定の時間単位で数値化し、デジタルで電波にのせて放送するのがデジタル放送です。

デジタルテレビ放送を見るにはどうすればいいの？

市内の各テレビ組合は、組合及び一部自治会で組織された、都留地上デジタルテレビ放送連絡協議会の中で、デジタル化に向けての方向付けを模索していくこととなりますが、各地域のテレビ組合などに加入されていない方々には、情報が入りにくく、不安を抱えている方も少なからずいることと思います。

個人のアンテナで、地上デジタル放送を見れないことはありませんが、それなりの設備が必要になります。(UHFアンテナ、地上デジタルテレビ放送用チューナーなど)ただし、この場合は、NHK・ローカル放送はご覧いただけますが、民放(フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京など)については、東京波を受信できない可能性が大きいので、ご覧いただけないことが予想されます。なお、平成23年(2011年)までは地上アナログ放送(現在のテレビ放送)と地上デジタルテレビ放送が並行して放送されます。

※詳しい内容については下記までお問い合わせください。

都留市の動き

本年5月26日、市内27のテレビ組合及び自治会を対象に、地上デジタルテレビ放送に関する説明会を開催しました。

その席上、多くの出席者より、情報の共有や地上デジタル化への円滑な移行を目的とした、連絡協議会の設置要望が寄せられました。これを受け、7月26日に組合及び自治会など37団体により、「都留地上デジタルテレビ放送連絡協議会」が設立され、事務所を都留テレビ利用者組合に置くこととし、同組合が情報発信の基地的役割を担うこととなりました。

問合せ先

政策形成課 企画担当
都留地上デジタルテレビ放送連絡協議会事務局(都留テレビ利用者組合)
☎(43)2542

地上デジタルテレビ放送



地上デジタル放送は、昨年の12月1
され、本県でも2006年から甲府方面を
2011年までには、テレビ放送は全て

現在行われているテレビ放
送も「デジタル放送」も電波で
情報を送る点では同じですが、
最新の「デジタル技術」を使え
ばこんなことができます。

「デジタル放送と今
までの放送」と何が
違うの？



見るテレビから



使うテレビへ！

地上デジタル放送には、こんな可能性があります！

- 1 高画質・高音質で楽しめる！**
ハイビジョンやCD並みの画質と音声
- 2 見たいジャンルの番組が簡単に選べる！**
番組案内から簡単検索
- 3 地域情報も見られる！**
各種お知らせなど地域情報も満載
- 4 双方向だから番組に参加できる！**
クイズ参加で狙った〇〇ゲット！
- 5 データ放送、暮らしに役立つ最新情報。**
お出掛け前にはお天気チェック！
- 6 高齢者・障害者に優しいサービスの充実。**
聞きやすい速度への変換、点字受信機を開発中
- 7 パソコンを使った新サービスも！**
お気に入りの番組からパソコンへダウンロード
- 8 外にいてもテレビが見られる！**
外出中でも携帯端末で、いつもの番組ウォッチ！